いつまでも“私らしく”いるために

みんなの“私らしく”を応援するために

賛助会員 ご入会の手続き

1. 別紙の申込書に記入いただき、FAX または郵送してください。
HP からの申し込みもできます。

FAX：075-811-8188

郵送先：〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る
京都社会福祉会館２階 認知症の人と家族の会

HP：www.alzheimer.or.jp

2. 同時に、郵便局または銀行で会費をお振込みください。

年会費 1口 10,000円から
２年目からは自動引落もご利用いただけます。

【郵便局】口座番号：01050-3-47146
名義：（社）「家族の会」

【銀 行】銀行名：京都信用金庫 西陣支店
口座番号：普通 0888566
加入者名：公益社団法人認知症の人と家族の会

公益社団法人
認知症の人と家族の会
〒602-8143 京都市上京区堀川通丸太町下る 京都社会福祉会館２階
TEL：075-811-8195 FAX：075-811-8188

こころつなぐ PROJECT 90を「カタチ」に

47都道府県の支部の連絡先など詳細はホームページをご覧ください 家族の会 検索

「おまえが忘れても、俺たちがおぼえている」

「次に会う時みんなのこと
忘れていたらごめんね」と冗談まじりで言うと
「大丈夫、おまえが忘れても俺たちがおぼえているから」
と言ってくれました。
それまでみんなとの仲がきれてしまうのではと
心配していましたがすべて吹き飛びました。
これから多くの人の顔を忘れてしまうかもしれません。
でもみんなが私の事忘れないでいてくれる、
だから忘れたっていいじゃない、
そう思ってこれから生活していこうと思えるようになりました。

丹野智文（認知症当事者）

いつまでも“私らしく”いるために

公益社団法人
認知症の人と家族の会

賛助会員のご案内

(C) 朝日新聞社

みんなの“私らしく”を応援するために

「家族の会」の 賛助会員になりませんか

認知症の人と家族、専門職、ボランティアなどが力を合わせて「認知症になっても安心して暮らせる社会」をめざしている組織―それが「家族の会」です。

すでに施設、病院、企業、団体など、全国1,100を超える方々に賛助会員として支援していただいていますが、ぜひあなた（企業・団体）のご支援もお願いします。

36年のあゆみ

認知症の人のために、家族のために、これからも

1980	90名の介護家族が「呆け老人をかかえる家族の会」を京都で結成。
1982	厚生大臣に初の要望書提出。
1994	厚生大臣より社団法人の認可を受ける。
2000	介護保険制度開始に合わせ、フリーダイヤル電話相談（0120-294-456）を開設。
2004	国際アルツハイマー病協会第20回国際会議・京都・2004を開催。世界から4,000人以上が参加。
2006	「認知症の人と家族の会」へ名称変更。
2010	公益社団法人に認定される。
2014	沖縄県に支部誕生、全国に支部。
2017	国際アルツハイマー病協会第32回国際会議・京都・2017を開催。

多様な会員、さまざまな立場の人々が協力し合っています

会員区分割合（2014年度会員数 11,074名・団体）

ご支援をお願いします

公益社団法人認知症の人と家族の会・代表理事

髙見　国生（たかみ　くにお）

Profile 認知症の母親（養母）を、共働き、育児をしながら約8年間在宅で介護。介護中の1980年、「家族の会」結成に参画。以降、今日まで代表を務める。「家族同士の励ましあい助けあいと社会的関心を高め介護の社会化をすすめる」ことを掲げた活動は、その後全国に広がる。各地で講演を行い、テレビ・ラジオ・新聞にも多数出演。

どんなに社会的理解と支援が進んだとしても、もっとも大切なことは、認知症の本人と家族自身が前向きに生きる力を持つことです。

認知症になっても仲間がいる、介護でつらい思いをしているのは自分だけではない、と思えることが生きる力を生み出す源泉です。「家族の会」は、1980年の結成以来そのこと―当事者どうしの心をつなぐこと―を活動の目的としてきました。その活動に専門職の方、市民の方にも加わってもらい、おかげさまで全都道府県に仲間の輪はつながりました。

私たちは、会員どうしが励ましあい助けあうだけでなく、会員以外の方々の力にもなるために、全国での電話相談や講演会などの啓発活動、行政への要望なども行っています。

約10,000名の個人会員が年間5千円の会費を持ち寄り活動資金にしていますが、それだけではこれらの活動が賄えません。また、活動を進めるためには多くの人の力も必要です。認知症問題に関心を持つみなさん方の物心両面でのご支援を心からお願いいたします。

賛助会員とは？

「家族の会」の活動を支える会員です。全国で1072団体、67名の個人（2015年12月）が入会されています。

年会費：1口10,000円から
入会方法：同封の入会申込書と年会費をお送りください

※詳しくは裏面「ご入会の手続き」をご覧ください。

賛助会員になっていただくと Check!

月刊・会報を届けます！

認知症の人や家族の声など情報満載です。

・介護保険の動向
・医療・介護
・国際情報 など

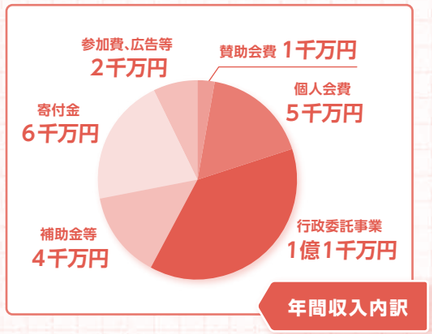
講演会、研修会の案内を届けます！

全国団体のメリットを活かし、幅広いイベントを開催。職員研修、勉強会にも最適です。

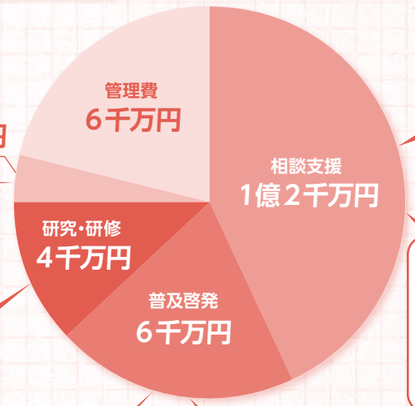
調査研究の結果を届けます！

当事者団体だからこそできる貴重な調査研究の結果をお届けします。（一部有料）

活動内容と予算（2億9千万円　2014年度）



年間活動経費



国際交流

国際アルツハイマー病協会（ADI／本部イギリス）に加盟。各国と交流しています。認知症は、日本だけでなく世界の人々の共通の悩みです。各国の課題を知り、世界規模で認知症を考えています。また、2017年に京都で開催する国際会議に期待が高まっています。

電話相談

全国対象のフリーダイヤルと、各支部での電話相談を実施（2014年度計25,000件）。支部によっては、行政の委託による「認知症コールセンター」も。経験豊富な相談員が具体的なアドバイスをしています。

本人のつどい、家族のつどい

全国で認知症の人や家族のつどいを行っています（3,715回のべ約50,000人が参加／2014年度）。直接会って悩みを話しあい、情報も得られ、元気が出ます。

研究・研修

認知症の知識を得て、深めることは大切です。全国から関係者が集結する全国研究集会を1985年から毎年開催、医療・介護の研修講座も行っています。

会報の発行

月刊の本部会報、支部会報を1回あたり計50,000部発行しています。体験記や最新の医学、制度の解説など幅広い情報を掲載。「私だけではない」と勇気が出る会報です。

啓発

認知症について広く社会に知ってもらうために、「世界アルツハイマーデー（毎年9月21日）」には、全国での啓発リーフレットの街頭配布や講演会の開催など、さまざまな活動を展開しています。